

片桐伸夫教授のご退職にあたって

経営学部長 小本恵照

本学部で教鞭をとられてきた片桐伸夫教授が、今年度をもって定年を迎えられご退職されることになりました。これまでの先生のご活躍と学部への多大なる貢献に対して、一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

片桐先生は1950年9月22日、静岡県でお生まれになられました。1973年に名古屋学院大学経済学部商学科を卒業後、約半年間民間企業で経理関係の仕事に携わられました。この実務の経験を踏まえ、1974年に駒澤大学大学院商学研究科に進学され、1980年には同大学院で博士課程の単位を修得し満期退学されました。大学院の満期退学と同時に駒澤大学経営学部の助手に採用され、1981年に講師、1985年に助教授、1991年に教授と昇格されました。それ以来、41年にわたり教鞭を執られました。

研究面では、先生のご専門は会計学で経営分析論を中心にご研究を続けて来られました。研究の対象は、チェーンストアを中心とした小売業、生協、航空会社など幅広い業種に及んでいます。また、連結財務諸表原則の会計処理という会計学の基礎となる分野でのご研究もされています。教育面では、「経営分析論」「会計学A・B」「簿記学A・B」「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「新入生セミナー」といった科目を担当され、会社の活動を的確に計測することを目指す会計学教育にご尽力されました。また、経理研究所においては、日商簿記検定試験などを受験する学生に対して手厚い受験指導をしていただきました。

先生には教育および研究だけではなく、学部と大学院の運営面でも多大な貢献をいただきました。1991・1992年度には第2部経営学科主任、2011・2012年度は大学院経営学研究科委員長、2013・2014年度は経営学部長を歴任されました。少子化が進むなど大学経営が厳しさを増す中で、学部・大学院の運営を円滑かつ効果的に進めていただきました。

駒澤大学経営学部の教育における41年間という長きにわたるご貢献および

学内業務へのご尽力に対し、改めて先生に心より感謝申し上げる次第です。
先生の今後の益々のご活躍と健勝を心からお祈りするとともに、本学部へのご
ご教示やご鞭撻を引き続きお願いしたいと思います。